

TES会中部支部 第123回クレーム事例勉強会

検討年月日	2017/8/18		Bグループ					
品名(品番)(写真)	皮革部分使いのポロシャツ(海外の著名ブランドネーム付き品)							
	組成	取 扱 い 絵 表 示	103	201	301	401	501	601
	cotton 96%		104	202	302	402	502	602
elastane 4%	105	106	303	403			603	
pelle leather peau 100%	107		304				604	
			ネット		あて布			
			無蛍光					
			中性					
申し出クレーム内容	襟ウラに使われた皮革の色素が襟表の生地に滲んだ							
クリーニング処理法	ウェットクリーニング							
グループ検討内容	<p>①商品の真贋は不明であるが、疑問点の多い商品である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランドジャパン社の正規輸入品ではないとの情報あり ・表示内容に一貫性がない(組成表示は英語中心で、皮革のみ伊英仏語で表記、取扱い表示はISOらしき表示と日本の表示) ・ボタンはプラスチックで安っぽい ・以上の事由から、メーカー真正品でない場合は、工場の出目等に適当な表示ラベルを付けた可能性も考えられる <p>②処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回処理でなく、数回目で発生したトラブルという情報あり ・業者はウェットクリーニング処理をしたとしているが、今回はパークロドライ処理をした可能性がある ・取扱い表示で石油系ドライは可能とされているが、英文の付記用語にはパークロ処理可と読める文面がある ・水洗い可の表示からするとウォッシュャブルレザーが使われているのかも ・皮革の染めに使われた染料や加工剤の劣化による事故の可能性 ・白色素材に色落ちしやすい茶色の皮革を組み合わせた企画ミス <p>結論はふたつ考えられる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造者責任(企画ミス、または表示ミス、耐久性不良) ・クリーニング業者責任(処理が不適切であった) 							
検査機関検討内容	<p>1、皮革のブリード 皮革の染色堅牢が弱いと思われる。</p> <p>皮革の洗濯、水の堅牢度、および色なきで確認。 皮革が衿ぐりで薄く退色しているため、汗の堅牢度も確認。</p>							